

施工段階		内装		9	設備工事： 電気・空調機器取付 (仕上材との取合い)	シート番号 9-1
電気	空調	衛生	その他			
○	○	—	—			

天井や壁に設置する、設備機器類の仕上げに開ける開口サイズ、位置を確認します。

ポイント

■開口サイズ、位置、高さについて

- ・開口寸法を、納入仕様書で確認します。
- ・天井伏せ、展開図は最新図か確認します。
- ・機器取付け時、仕上げ材と隙間は空きませんか。
- ・他の設備、建築仕上げとの芯合わせを確認します。(図面で調整しても、現場で気付く場合もある)
- ・建築仕上げ目地(天井伏せ)の整合を確認します。(貼り出し芯がずれていると、設備が失敗したように見えてしまう)

■取付機器について

- ・下地内の機器本体位置と天井伏せ表面設置器具の芯ずれは許容範囲内か確認します。
- ・開口補強は施工されているか、確認します。
- ・水平、垂直、曲りがどうか、確認します。
- ・天井仕上げ材と器具の隙間処理を確認します。(表面の凹凸、振動の伝搬防止対策等)
- ・点検口の位置は、使い勝手を現場で最終確認します。

先輩アドバイス

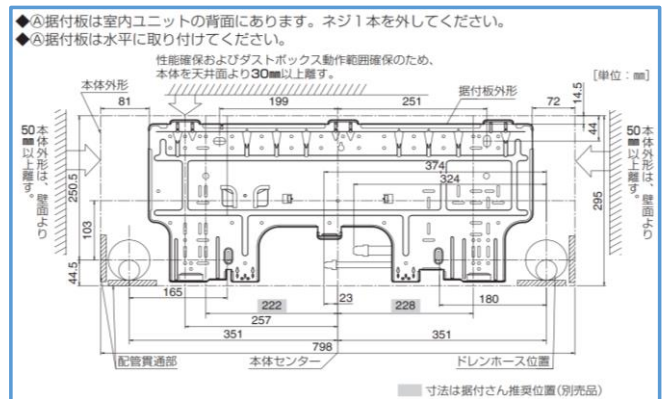
- ・開口を墨出し、穴あけ工事は、現場によって工事区分が異なるので、確認しましょう。
- ・無理やり機器と開口を納めると、竣工後に隙間や振動音などの不具合が発生する恐れがあります。
- ・ボードジョイント、パテ処理前に開口を行います、工程を調整して下さい。

チェック項目

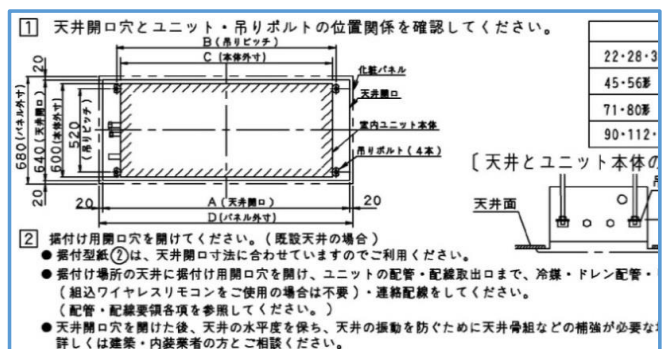
- 開口寸法・精度を仕様書で確認しましたか。
- 最新の天井伏せ図で施工していますか。
- 図面と現場は合致していますか。(仕上げ貼り出し芯、開口追出し芯)
- 壁、天井、足場、床仕上げ工程は考慮済みですか。

失敗すると...

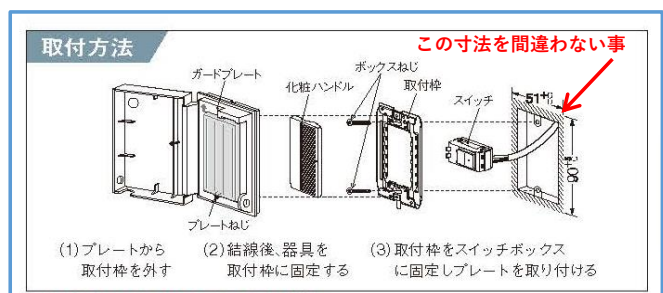
- ・開口位置、サイズを間違えると、他工事に迷惑を掛け、工程にも影響します。
- ・天井内機器本体の設置位置が違う場合、天井裏工事からの手戻り工事となってしまいます。



壁取付スペース 例



天井開口寸法 例



壁開口寸法 例

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
	—	—	○	—	—	—	—	○	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：ダイキン工業(株)、パナソニック(株)						改訂	2023年3月1日	